

事業所名

児童発達支援事業所 chouchou粕屋町

支援プログラム

作成日

2024年

10月

3日

法人（事業所）理念		「障がい=個性」と位置付けるのではなく、障がいを「特徴」として捉える。客観的に苦手さを感じる特徴が大半ですが、主観的に苦手と感じない、その子の強みとなる特徴もあり、その特徴を大切にすることで「特長」となり、その子の「個性」へと培われていく。そんな「特徴」を「特長」へと繋げるような療育プログラムを提供していく。chy										
支援方針		就学前に集団活動や社会的適応能力向上のための基礎を学ぶことで、しっかりとした土台を形成したのち、最新のICT機器の活用をベースに個性や才能を引き出す療育を提供しております。未来を生きる子供たちがより多くの可能性にふれることで、ひらめきを増やし自分の道しっかり考え、歩めるように療育を通じてサポートしていきます。 また、自発性を促すためにこちらから何でもやってあげるのではなく、子どもに意思表示をさせてからこちらが反応するのを基本方針としています。こちらから進んで声かけするのではなく、見守りを中心としています。 ・毎日通園 ・大学と連携した独自カリキュラム「CARE /ケア」 ・はだし教育 ・ダイナミック運動 ・微細活動 ・午前睡眠 ・タブレット学習 ・毎月イベント										
営業時間		9時	0分	から	15時	0分	まで	送迎実施の有無	あり	なし		
支援内容												
本人支援	健康・生活	・通所時の体温測定 ・コップ付き水筒の使用 ・多様なおやつを提供により食べられるものを増やしていく ・トイレトレーニング ・パジャマの着脱 ・衣服の畳み方練習 ・歯磨き学習 ・食具練習 ・味覚学習 ・スキルブック（ボタン、チャック、ベルトの装着練習） ・午睡による体力回復 ・防災訓練										
	運動・感覚	・鉄棒 ・ハイハイ&アザラシレース ・かけっこ ・足掛け運動 ・手押し車 ・ボール集め ・キャタピラ ・お散歩 ・綱引き ・マラソン（5分間走） ・マット運動 ・片足跳び（ケンケンパ） ・リボン取り ・輪投げ ・キャッチボール ・ポックリ ・ハードル（ハイ&ロー） ・スプーン競争 ・サーキット ・ラジオ体操 ・さんぼ（行進練習） ・アニマル運動 ・手遊び ・ドレミマット ・歌遊び ・ビーズひも通し ・新聞ちぎり ・粘土 ・小麦粘土 ・色水遊び ・プール										
	認知・行動	・粘土 ・折紙 ・描画 ・積み木 ・線点つなぎ ・ブロック ・マグネットモザイク ・塗り絵 ・マッチングカード ・プラステン・お名前名詞 ・ピンチ練習 ・ハサミ練習 ・スキルブック ・プットイン ・食具練習 ・鉛筆練習 ・色彩学習 ・味覚学習 ・風船ゲーム ・砂遊び学習 ・のりで貼る練習 ・リトミックピアノ										
	言語コミュニケーション	・朝の会での呼名、歌の合唱 ・帰りの会での歌の合唱 ・歌遊び ・お弁当、おやつ時の「いただきます」「ご馳走様」の挨拶 ・声掛けジェスチャーによる動作の促し ・「～やってください」など要求の練習 ・絵本の読み聞かせ ・手遊び（模倣動作練習） ・お名前名詞による語彙数の増加 ・挨拶返事練習 ・散歩（手つなぎ） ・キャッチボール ・発語が見られない児童に対するジェスチャー練習 ・絵カードによる視覚的伝達										
	人間関係社会性	・綱引き（協力動作） ・マラソン（他児、周囲への配慮） ・さんぼ（行進練習）や活動の実施における順番の理解 ・おもちゃや椅子などの片付け ・挨拶返事練習 ・保護者参加イベント（夏祭り&運動会） ・飲食時のマナーの指導										
家族支援		・毎月の児童の様子を記載した通信配布 ・毎月の活動予定表の配布 ・モニタリング会議 ・保護者会 ・夏祭り&運動会の保護者参加				移行支援			・モニタリング会議 ・学校への移行のための年長児学習（ひらがな学習、鉛筆学習、ランドセルを背負う練習など） ・連絡協議会の参加			
地域支援・地域連携		・活動報告 ・毎月の通信配布 ・モニタリング会議 ・夏祭り&運動会の保護者参加 ・防災訓練				職員の質の向上			・外部講師を招いての研修（3ヶ月に1回） ・月1回の管理者研修（療育プログラムについて）			
主な行事等		・遠足 ・お誕生日会 ・子どもの日集会 ・虫歯予防デー ・七夕集会 ・夏祭り ・ハロウィンパーティー ・十五夜集会 ・運動会 ・クリスマスパーティー ・節分集会 ・ひな祭り ・卒園式										